



# 介護経営管理者講座

ご案内

2012

主催 立命館大学  
医療経営研究センター

## センター長ごあいさつ

現在の医療機関は、法人としての経済合理性、患者個人の尊厳の問題、一層の公共性が社会から問われており、患者や政府機関、医薬品産業などのステークホルダーと関わる医療機関を再構築するための「医療経営」の必要性がクローズ・アップされています。さらに、院外処方など進展によるメディカル法人の運営や介護施設の併用など経営領域は、メディカルからヘルスケアに拡大し、再生医療をはじめとする生命科学・医薬分野の進展への対処など、新たな経営上の課題に対応する経営学および生命科学・医薬共同の研究領域としての確立が期待されています。

このような中、本研究センターは2009年4月に設立されました。本来「医療経営」研究は、プロジェクト志向の課題解決型アプローチ(実務に即した現場志向の研究課題)を必要としており、本研究センターは、経営学、生命科学、薬学の研究者の連携をベースに、医療経営現場における課題解決型の研究を実施しています。また、医療現場との研究ネットワークを構築するために、医療経営に関する専門講座を実施し、これを通じてこの医療経営に関する諸課題を把握し、現場の医療関係者と研究者が一体となって問題解決に取り組んでおります。

今回、介護経営管理者講座を開設させていただくのは、日本の社会保障と税の一体改革が進められる中、医療と介護の連携がクローズアップされているだけでなく、地域包括ケアの実現に向けて、介護と福祉の連携もまた重要となっており、介護が重要な焦点になっているからです。介護事業において、まさに経営が求められているという認識のもと、私どもが主催いたします介護経営管理者向け講座を、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

立命館大学医療経営研究センター  
センター長 (2012年4月1日付就任)

肥塚 浩  
(立命館大学経営学部 教授)

### 介護経営管理者講座 修了書の発行について

(対象：受講生個人)

7回目までに5回以上受講し、8回目で発表を行った方へ修了書を授与いたします。

## 講座長ごあいさつ

介護保険スタートから12年。日本の社会保障と税の一体改革が進められ制度維持・財政論などが展開されているなかで、これからの介護サービス事業者にとって、制度維持を目指した制度改革による減収や利用者負担増、少子化に伴う介護人材の確保や育成、地域人口減少に伴う提供サービスの選定やエリアデザインなど、さまざまな課題を包含しつつも、2015年以降の爆発的な介護ニーズに対応するサービスの質を確保することが求められていきます。

それは、これまでの介護サービス事業者が求められてきた管理者能力とは潮流が少し変化してきているのではないかと考えております。様々な課題のなかでの適正サービス提供量の確保と適正利益による組織継続という相反する使命のため、これまでの研修等では成しえない学習と現場へのアウトプットが求められているのではないのでしょうか。

そのため、本研究センターにおいて、本年度より経営学の学術研究者から非営利組織のマネジメントの理論と手法を、またサービス種別を超えて最前線で活躍してきた実務経営者や、政策立案を長年担ってきた行政の制度設計サイドのメンバーを含めた各方面で活躍している学術、実務、政策の専門家を擁し、本格的な介護経営の管理者講座を開始いたします。昨今のドラッカーブームに見られる理論原点回帰は、課題先進国としての我が国に対する国民の危機感でもあると考えております。その危機感とは、介護経営にこそ必要なものであると考え、開講に至りました。

ぜひとも、介護施設経営に携わる管理者および将来の管理者候補の方々に受講いただき、課題先進国である我が国の課題を共に取り組み、次世代につなげられる介護サービスとなるように、一緒に学んで参りましょう。

立命館大学医療経営研究センター  
介護経営管理者講座長

中井 孝之  
(立命館大学BKC社系研究機構 フェアprofessor)

### 2012年度 介護経営管理者講座 (コースプログラム)

科目名	会場	開講日	開講時間	受講料 (円)
第1回 社会保障	立命館 東京キャンパス	5/12(土)	10:30 ~17:00	200,000
第2回 マーケティング		6/ 9(土)		
第3回 経営戦略		7/14(土)		
第4回 介護政策		8/11(土)		
第5回 コーチング・コミュニケーション		9/ 8(土)		
第6回 人的資源管理		10/13(土)		
第7回 財務管理・経営情報		11/10(土)		
第8回 課題発表会		12/ 1(土)		

# 介護経営管理者講座（全8回コースプログラム）

会場:東京キャンパス / 時間:10:30～17:00(休憩1時間) / 受講料:全8回 200,000円  
(テキスト込み)

第1回

5月12日(土)

担当講師

青柳 親房(社会福祉法人こうほうえん 理事・東京事業本部長)

## 「社会保障」

現在、進められている「社会保障と税の一体改革」を理解するため、長年、制度設計を担ってきた講師が、日本の社会保障の歴史を把握し、今後の介護経営の方向性を論じます。講義後半では、参加者同士の議論により介護サービスの今後について議論し、あわせて参加者の講座受講テーマを決定します。

第2回

6月9日(土)

担当講師

鳥山 正博(立命館大学大学院経営管理研究科 教授)  
宮島 渡(社会福祉法人 恵仁福祉協会 常務理事、アザレアンさなだ 総合施設長)

## 「マーケティング」

次代の法人経営を担う経営管理者として、諸改革への対応、経営基盤の強化、地域で生活する人々の福祉の向上を視野に入れた活動等を研究するため、マーケティングの手法を理解します。また、良質な介護サービスを実践している介護経営者より、地域における介護サービスの展開手法や独自のマーケティング戦略について学び、地域マーケティングの方法論の取得を図ります。

第3回

7月14日(土)

担当講師

肥塚 浩(研究センター長、立命館大学経営学部 教授)  
小山 剛(社会福祉法人長岡福祉協会 理事、高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長)

## 「経営戦略」

介護事業をドラッカー理論等を活用して分析し、固有のマネジメントの特徴と経営戦略における決定プロセスを理解します。そして後半では、地域包括ケアの第一線で活躍している講師から、制度改正がもたらす今後の市場の姿をデザインするため、介護事業における戦略立案の方法論について学びます。

第4回

8月11日(土)

担当講師

中井 孝之(立命館大学BKC社系研究機構 チェアプロフェッサー)

## 「介護政策」

政策立案の最前線を担ってきた講師が、日本の国民皆保険制度導入から老人保健法そして介護保険までの医療・介護政策に関する系譜と、今後進められる「地域包括ケア」の狙いについて論じます。またその課題について参加者同士の議論により、介護サービスの今後についての方向性や課題を整理します。

第5回

9月8日(土)

担当講師

高橋 慶治 (立命館大学大学院経営管理研究科 客員教授、株式会社ヒューマックス 取締役)  
平川 博之 (公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事)

## 「コーチング・ コミュニケーション」

組織やチームで効果的に仕事をするには、良い人間関係やコミュニケーションが必要不可欠です。介護現場で抱える組織・個人の課題を整理し、管理者として組織やチームにおける人間関係を改善・向上させるための建設的なコミュニケーション、部下育成の視点からコーチングについて、それらの基本的な考えとポイントについて実践で活用できるように学びます。

第6回

10月13日(土)

担当講師

前田 東岐 (立命館大学大学院経営管理研究科 准教授)  
三根 浩一郎 (公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事)

## 「人的資源管理」

介護ニーズの一層の拡大・多様化を踏まえ、介護分野における人材確保・定着は喫緊の課題となっています。社会・経済環境の変化、諸改革の進行等により、介護経営に求められる人的資源に関するマネジメント能力を身につけるため、理論としての人材マネジメントの学習を通じ、組織作りの根幹を理解します。また、著名な介護経営者から、現場における実践的な人事開発・育成戦略について学び、質の高い人材の安定的な確保・育成・定着を図ることについて学びます。

第7回

11月10日(土)

担当講師

山田 尋志 (社会福祉法人共同事業 地域密着型総合ケアセンター「きたおおじ」代表)  
千葉 正展 (独立行政法人福祉医療機構・経営企画室 経営企画課長)

## 「財務管理・ 経営情報」

長年、官民の両サイドから介護サービスの管理を実践された経営者から財務だけでなく経営に必要な数的管理を含めた介護事業のマネジメント手法を理解します。また、地域の介護サービスが持続できるよう経営情報を適切に理解するため、介護サービス融資先の経営分析に携わってきた実務研究者から介護事業の財務管理や経営動向について学びます。

第8回

12月1日(土)

担当講師

中井 孝之 (立命館大学BKC社系研究機構 チェアプロフェッサー)

## 「課題発表会」

第1回の講義において決定した講座受講テーマについて、当該講座を踏まえ、各自で研究・検討した経営課題について発表し、参加者と共に議論することで経営課題の解決方法を共有します。講座受講者同士のヨコのつながりを深めつつ、互いの今後の活躍にエールを贈り、講座修了証を手に入れます。



### ◆ 肥塚 浩（研究センター長、立命館大学経営学部 教授）

専門分野：経営戦略論。経歴：立命館大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得。研究テーマ：戦略経営・大学経営。所属学会：日本経営学会、産業学会、日本介護経営学会。業績：『現代の半導体企業』『日清食品のマネジメント—食文化創造とグローバル戦略—』『教育システムの開発とマネジメント—APUのケース—』（『立命館高等教育研究』第2号）等。厚生労働省「福祉人材安定化に関する調査・研究および人材安定化対策事業（研究代表者）」（2010年度）。博士（経営学）。



### ◆ 中井 孝之（立命館大学BKC社系研究機構 チェアプロフェッサー）

専門分野：介護保険制度、介護経営、介護・福祉人材育成支援、社会福祉制度。研究テーマ：介護経営と介護・福祉人材マネジメント、介護事業におけるコンプライアンス。厚生労働省において37年間にわたり社会福祉分野の政策立案等に携わる。特に介護保険制度のエキスパートとして創設から数次の制度改正に従事。年金、医療と共に社会保障の中で重要度を増す介護保険制度下における法人・事業者の経営支援に資するシステムの研究に注力している。所属学会：日本介護経営学会。



### ◆ 青柳 親房（社会福祉法人こうほうえん 理事・東京事業本部長）

経歴：1976年 東京大学経済学部卒業 厚生省入省、1996年～1998年 厚生省老人保健福祉局老人福祉計画課長、2002年～2004年 厚生労働省政策統括官付参事官（社会保障担当）、2007年～2009年 厚生労働省九州厚生局長、2009年 厚生労働省退官。この間、厚生省年金局、保険局において数次の制度改正に携わる。2010年より拓殖大学大学院地方政治行政研究科非常勤講師（社会保障政策論）  
著書：社会保障の未来を考える（筒井書房 2009年）



### ◆ 小山 剛（社会福祉法人長岡福祉協会 理事、高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長）

経歴：新潟医療福祉大学客員教授、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会副理事長、全国経営協介護保険事業経営委員会専門委員、他多くの公職を併任。著書（共著・監修等）：介護保険制度と福祉経営（ミネルヴァ書房）ケアマネジメントと経営戦略（中央法規出版）介護経営白書（日本医療企画）他多数



### ◆ 高橋 慶治（立命館大学大学院経営管理研究科 客員教授、株式会社ヒューマックス 取締役）

主な経歴・業績：駒澤大学文学部卒業、同大学院人文科学研究科修士課程修了。人間総合科学大学大学院修士課程修了。柴田クリニック臨床心理士、株式会社脳力開発研究所研究員、日本オリンピック委員会強化スタッフ（メンタルトレーニング&コーチング）を歴任。企業やスポーツ分野での指導多数。専門領域：ヒューマンスキル、メンタルヘルス



### ◆ 千葉 正展（独立行政法人福祉医療機構・経営企画室 経営企画課長）

経歴：1983年 株式会社三菱総合研究所、2000年 株式会社福祉会計サービスセンター、2001年 社会福祉・医療事業団（現・独立行政法人福祉医療機構）現在に至る。  
主な業績：社会福祉法人会計基準検討委員会オブザーバー（2008年～）、厚生労働省「介護給付費分科会調査実施委員会委員」（2009年～）  
書籍：「福祉経営論」（ヘルス・システム研究所 単著 2006年）、「実践経営分析講座・財務諸表を読み解く」（「介護保険情報」連載：社会保険研究所 2008年10月～2011年12月）



◆**鳥山 正博**（立命館大学大学院経営管理研究科 教授）

専門分野：マーケティング戦略、マーケティングリサーチ、エージェントベースシミュレーション 経歴：ノースウェスタン大学ケロッグ校MBA(1988)、東京工業大学大学院修了、工学博士(2009) 1983年より2011年まで株式会社野村総合研究所にて経営コンサルティングに従事。業種は製薬・自動車・小売・メディア・エンタテインメント・通信・金融等と幅広く、マーケティング戦略・組織を中心にコンサルテーションを行う。社団法人日本マーケティング協会 マーケティングサイエンス研究会のコーディネーター。



◆**平川 博之**（公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事）

経歴：1979年金沢医科大学卒。認定精神科専門医、精神保健指定医、医学博士。医療法人社団博朋会・光生会理事長。役職：(社)東京都医師会理事、(社)日本精神神経診療所協会副会長 主な業績(国庫補助金事業等)：2009年度「外国人スタッフ雇用に関する問題点の調査研究班」班長、2009年度「介護従事者のキャリアアップシステム導入・活用推進のための調査研究班」班長、2010年度「介護職の離職後の職場復帰に関する調査研究事業班」班長、2011年度「介護人材養成(実務者研修)のための研修の読替えと実務者研修および認定介護福祉士(仮称)に至る過程の認証・顕彰に関する試行的事業」班長



◆**前田 東岐**（立命館大学大学院経営管理研究科 准教授）

専門分野：経営学、組織論。経歴：立命館大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。博士(経営学)。研究テーマ：個人の自立性、組織の中の個人、人材マネジメント。所属学会：日本経営学会、経営学史学会、組織学会など。



◆**三根 浩一郎**（公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事）

経歴：1981年4月より久米大学精神神経科教室入局、「電撃痙攣閾値に対する抗てんかん薬の作用」にて学位記を取得、1987年4月より新船小屋病院へ院長として勤務、1989年に老人保健施設、1990年に老人性認知症疾患治療病棟を設立、2000年4月より日本精神科病院協会の高齢者対策・介護保険委員へ就任、2005年4月より社団法人全国老人保健施設協会常務理事へ就任



◆**宮島 渡**（社会福祉法人 恵仁福祉協会 常務理事、アザレアンさなだ 総合施設長）

経歴：1991年 医療法人恵仁会 入職。社会福祉法人設立認可申請、アザレアンさなだの建設に関わる。1993年 特別養護老人ホームアザレアンさなだ施設長 就任。

主な活動：特定非営利活動法人 長野県宅老所・グループホーム協会 理事長、特定非営利活動法人 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 副代表、特定非営利活動法人 地域生活サポートセンター 理事、特定非営利活動法人 高齢者ケア研究会 副理事長、全国社会福祉経営者協議会 介護保険事業経営委員会



◆**山田 尋志**（社会福祉法人共同事業 地域密着型総合ケアセンター「きたおおじ」代表）

主な業績：1981年社会福祉法人健光園に勤務。「健光園」園長を経て2000年高齢者福祉総合施設「ももやま」を開設、2011年まで「ももやま」園長を勤め8か所のサテライトを開設。2010年から社会福祉法人共同事業である地域密着型総合ケアセンター「きたおおじ」開設に尽力、現在同施設並びに開発プロジェクト代表

